

平成31（令和1）年度 事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度における一般財団法人西南一粒の麦基金（以下「当財団」という。）の事業活動について、次のとおり報告いたします。

1. 事業活動概要

4年目となった本年度は、創立時から開始した事業の継続と拡大充実、当財団の認知度向上のための情報発信や活動継続のための財政面の基盤づくりに取り組みました。また、活動継続・充実のための人的基盤づくりとして、新たに「サポーター登録制度」を創りました。

当財団自ら取り組む「育成活動事業」として、創立時より継続している無料英語教室「西南一粒の麦 English Academy」は、3クラスにて37回開催しました。また、3月には、3年間のプログラムを終了した1、2期生に対し、初となる修了式を開催しました。昨年度より始めた、里親家庭やファミリーホームで暮らす子ども達を応援する取り組みを今年度も1月に開催しました。

当財団の目的に合致する活動に対し支援を行う「育成支援事業」では、引き続き「ホークスカップ中学生軟式野球大会」への支援を行いましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の大会は中止となりました。

また、昨年度より、「社会貢献事業」として支援を始めた「日本・イスラエル・パレスチナ学生会議」へは同様の支援を行うとともに、福岡開催の実現に取り組みました。

さらに、当財団の活動を広く知ってもらうため、ホームページの更新、報道機関への情報提供、新聞社からの取材への対応を行いました。

これらの活動を円滑に行うため、理事会を4回、評議員会を1回開催するとともに、事務局の体制及び各理事の担当や役割を見直しました。

2. 事業活動の実績

（1）育成活動事業

無料英語教室「西南一粒の麦 English Academy」の開催と運営

平成31年（令和元年）度は、前年度と同様、毎週火曜日に開催し、通常の授業の他、7月30日にイングリッシュサマーキャンプ、12月17日にクリスマス会と保護者懇談会、3月24日に初となる修了式を合わせ、計37回開催しました（開催日の詳細を下記に記載）。

今年度は、2名の新たな講師を迎え、またアカデミースタッフとして西南学院高校同窓会より1名、キャンパスサポート西南より1名を新たに加え、講師3名、アカデミースタッフ5名の計8名でスタートしました。

新講師：森山千鶴、菅原千恵

アカデミー新スタッフ：井上雅也、大島侖

今年度は、15名が入校し、1学期13回、2学期15回、そして3学期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月開催のクラスを全て休講としたため8回、合計36回の授業とアカデミー3年プログラムの最終年となる1、2期生の修了式を3月24日に新型コロナウイルス感染防止対策としての参加者限定、時間短縮等を講じ、無事開催することができました。

例年開催している夏休み恒例の「イングリッシュサマーキャンプ」は7月に西南学院内の留学生と共に開催し、12月にはクリスマス合同クラスと保護者懇談会を開催しました。保護者懇談会は、今年度から3クラスそれぞれを担当講師に任せ、家庭内における学習方法を中心とした質疑を行いました。

2月には第5期生の募集を行い、22名の応募があり、抽選の結果、16名を第5期生として4月より迎えることとしました。

今年度は、講師の経験、手練がクラス運営に大きく影響していることに改めて気づかされた一年でした。3クラス総勢40名となり、顕在化した課題をしっかりと見せられました。今後の講師リクルートを含めたクラス運営の再考基準としたいと思います。

また、今年度は、年度末からの新型コロナウイルス感染防止への対応を通じ、判断力を大いに試されていることを実感しました。来年度に向けて状況を適切に読み解き、バランスに優れた学舎にすることに集中したいと思います。

「西南一粒の麦 English Academy」開催日

4月：2回（9日（オリエンテーション）、16日、23日）

5月：4回（7日、14日、21日、28日）

6月：4回（4日、11日、18日、25日）

7月：4回（2日、9日、16日、30日（イングリッシュサマーキャンプ））

9月：4回（3日、10日、17日、24日）

10月：4回（1日、8日、15日、29日）

11月：4回（5日、12日、19日、26日）

12月：3回（3日、10日、17日（クリスマス会、保護者懇談会））

1月：4回（7日、14日、21日、28日）

2月：3回（4日、18日、25日）

※1月14日～2月28日 第5期生募集

3月：1回（24日（修了式））

里親家庭、ファミリーホームで暮らす子ども達の応援活動

前年度に引き続き、様々な事情により、実の親と暮らせず、里親家庭やファミリーホームで暮らす子ども達に対し、そのような境遇であっても強く、遅しく、立派に育って欲しいという思いを込め、2回目となるこの子ども達を応援する活動を行いました。

具体的には、1月19日に福岡市里親会早良区・城南区地域サロンが開催した「新年会」の昼食として、昨年と同じく寿司職人である西南学院高校卒業生2名の協力のもと、寿司職人が握る寿司の振る舞いを行いました。

また、今回は同じく西南学院高校の卒業生で素人落語を行っている方に、落語を披露していただき、日本の伝統文化に触れる機会を提供しました。

寿司振る舞い及び落語鑑賞の概要

実施日時：令和2年1月19日（日）12：00～14：00

実施場所：福岡市高取公民館

参加人数：子ども27名、里親12名、その他3名（里親家庭専門員）

実施概要：12：00より里親会による「新年会」開始。里親会会長のあいさつの後、福岡素人落語会所属の風流亭六木助氏による落語を披露。

12：30頃より寿司の振る舞いを実施（にぎり、軍艦巻、吸い物を提供）

その後、各里親家庭からの出し物（ピアノ演奏、ダンス、クイズ等）の披露が行われた。

この取り組みは、当財団が西南学院高校同窓会を母体とし、その卒業生が持つ技能を活用した特徴ある取り組みであり、また、子ども達に日頃触れることの少ない体験の場を提供できる有意義な活動であり、今後も西南学院高校同窓会、福岡市里親会と連携し継続していきます。

（2）育成支援事業

ホークスカップ中学生軟式野球大会への支援

70 弱の福岡市内の中学校ならびにクラブチームの参加により開催される予定であった「第25回ホークスカップ中学生軟式野球大会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、主催者である「NP法人ホークスジュニアアカデミー」及び大会運営を担当するボランティア団体「銀風会」に対し、昨年同様の支援金を贈呈しました。

（3）社会貢献事業

日本・イスラエル・パレスチナ学生会議の支援

昨年度より支援を始めたこの活動へは、昨年度と同様、8月に開催されたこの会議への資金的な支援を行いました。

また、今年度は、昨年より相談を受けていた、この会議の福岡での開催についての支援も行いました。具体的には、福岡開催の際の会場候補としての西南学院の施設見学並びに西南学院との橋渡しを行いました。結果として2020年8月21日（金）～25日（火）に西南学院の施設を利用して開催することが決定しました。今後は、開催の成功に向け全力で支援をしてまいります。

(4) 当財団の認知度向上のための広報の取り組み

新聞紙上における当財団の活動の掲載

当財団の活動を知らしめるため、報道機関への情報提供（プレスリリース）を行いました。具体的には、1月19日に開催した里親家庭で暮らす子ども達への寿司振る舞いと落語鑑賞の開催について、福岡市政記者クラブに資料提供を行い、合わせて西南学院広報・校友課からも情報提供をしていただきました。その結果、当日、新聞2社（西日本新聞、読売新聞）の取材があり、翌日以降の紙面に掲載されました。

(5) 活動の継続を支える財政基盤の拡充

賛助会員入会の促進

昨年度創設した賛助会員制度により、賛助会員への入会者増に取り組み、今年度は、個人会員27名78口、団体会員6法人130口の入会があり、財政面への大きな貢献となりました。

しかしながら、当財団の活動を継続し、さらに充実させていくにはさらに多くの賛助会員が求められ、今後も引き続き、会員を募り安定した財政基盤を作りたいと考えます。

(6) 活動の継続を支える人的基盤の整備

サポーター登録制度の創設

財団の育成活動事業である「西南一粒の麦 English Academy」及び「里親家庭で暮らす子ども達応援」、あるいは今後の新たな活動において、これらの活動を円滑に運営していくための人的な支援体制を確保し、活動の継続と充実を図ることを目的に、以下の2種のサポーター登録制度を創設しました。今後、登録者を募ってまいります。

(1) 技能サポーター

里親家庭で暮らす子ども達応援において、日ごろ触れることの少ないであろうことを提供するうえで、子ども達に様々な仕事や文化等の本物を見せる、体験させることのできる技能を有する者（例：料理、食品・工芸品等の製造・加工、芸能、その他子ども達が興味をもつ仕事のプロ）

(2) 運営サポーター

財団の各事業の取り組みを実施していくにあたって、その実施準備や実施当日の運営等を共に行う者

なお、これらサポーターの登録は当面の間、西南学院高校の卒業を対象に募ることとします。

3. 法人運営

(1) 役員及び評議員（令和2年3月31日現在）

理事長（代表理事）	江副 裕紀
専務理事	川崎 俊雄
常務理事	立石 智昭
理事	加賀田 真一郎
理事	平畑 雅博
理事	永田 修三
理事	高橋 浩一
監事	張 光陽
監事	織田 洋輔
評議員	大崎 完治
評議員	柴田 宗樹
評議員	河津 善博
評議員	長澤 正信
評議員	市丸 信敏
評議員	吉田 忠司

(2) 理事会の開催

第18回理事会（令和1年6月7日）

開催場所 H e m

決議事項 第1号議案 平成30年度事業報告（案）について
第2号議案 平成30年度収支決算（案）について
第3号議案 令和元年度定時評議員会の招集並びに会議の目的
事項（案）について

報告事項 1 English Academy 第4期開講式について
報告事項 2 賛助会員募集開始について
報告事項 3 ホームページの更新について
報告事項 4 財団紹介用リーフレットの作成について
報告事項 5 財団の封筒作成について

第19回理事会（令和元年9月13日）

開催場所 西南学院百年館 会議室

決議事項 第1号議案 賛助会員案内用リーフレットの作成について
報告事項 1 English Academy の状況について
報告事項 2 賛助会員の状況について
報告事項 3 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議について
報告事項 4 今後の取り組み事項及び課題について

第 20 回理事会（令和元年 12 月 16 日）

- 開催場所 西南学院百年館 会議室
- 決議事項 第 1 号議案 育成活動事業「第 2 回里親家庭の子ども達応援」
の実施について
- 第 2 号議案 事務局の体制と役割分担、担当の見直しについて
- 報告事項 1 English Academy の状況について
- 報告事項 2 賛助会員の状況について
- 報告事項 3 当面する（令和 2 年 6 月まで）予定、スケジュールについて

第 21 回理事会（令和 2 年 3 月 26 日）

- 開催場所 福新楼
- 決議事項 第 1 号議案 サポーター登録制度（案）について
- 第 2 号議案 令和 2 年度事業計画（案）について
- 第 3 号議案 令和 2 年度予算計画（案）について
- 第 4 号議案 税申告に伴う平成 31（令和元）年度仮決算の承認
について
- 報告事項 1 English Academy の状況について
- 報告事項 2 賛助会員の状況について
- 報告事項 3 第 25 回ホークスカップ中学生軟式野球大会について
- 報告事項 4 里親家庭で暮らす子ども達応援の実施結果について
- 報告事項 5 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議の福岡開催について
- 報告事項 6 評議員及び役員（理事、監事）の改選について

（3）評議員会の開催

令和元年度定時評議員会（令和元年 6 月 25 日）

- 開催場所 西南学院百年館 会議室
- 決議事項 第 1 号議案 平成 30 年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産
増減計算書）並びにこれらの付属計算書の承認に
ついて
- 報告事項 1 平成 30 年度事業報告
- 報告事項 2 令和元年度事業計画及び収支予算
- 報告事項 3 西南一粒の麦 English Academy の状況
- 報告事項 4 賛助会員制度の創設
- 報告事項 5 財団のホームページの更新